

ガイダンス

- 1．建築学の分野と他分野との関わり
- 2．建築環境工学のキーワード
- 3．環境共生学部で用意されている環境調整設備系科目の流れ
- 4．住環境調整工学とは？
- 5．今後の講義の予定（辻原担当分，～5/31）

4月19日（金） 住環境調整の歴史（その1）「森鷗外と建築環境工学」

4月26日（金） 住環境調整の歴史（その2）「女性と住環境改善」

5月3日（金） 祝日

5月10日（金） 住環境調整の歴史（その3）「暖房の歴史」

5月17日（金） 住環境調整の歴史（その4）「冷房の歴史」

5月24日（金） 環境デザイン学と環境心理学（その1）

5月31日（金） 環境デザイン学と環境心理学（その2）

6月7日（金）以降は，中村泰人教授の担当です。

講義内容は，「品確法」，建築のライフサイクルマネジメント，環境アセスメントなど。

成績の評価：

- ・出席点とレポートを総合して，評価します。定期試験は行いません。
- ・辻原の評価が50点，中村教授の評価が50点とし，それぞれ別々に評価を行い，その後にあわせて100点満点で住環境調整工学の最終評価とします。
- ・辻原の場合は，出席点が約3～4割，レポートが約6～7割として評価します。
- ・なお，毎回，講義の最後に5～10分程度時間を設け，A4判のレポート用紙に5～10行程度，その回の講義の感想・意見・要望などを書いて提出することで，出席点とします。

住環境調整工学（辻原担当分・第1回目）[金曜日・12:50～14:20・14番講義室]

2002.4.12

環境共生学部・居住環境学専攻
講師・辻原万規彦

注1) 講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/jyuu.html/jyuukan.html>

注2) 参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せます。できるだけ、附属図書館の所蔵情報も載せる予定ですので、多くの文献に目を通してください。